



千僧供町地域歴史資料館で展示土器に見入る参加者

歩いて新発見ふるさと探訪 近江八幡

近江八幡市馬淵町の馬淵公民館（松本敏男館長）が、馬淵学区の各町を歩いて巡る「ふるさと探訪」を行った。

同学区文化協会の主催で、学区内の約30人が参加した。

4回目の今年は千僧供町を探訪。「語り継ぐ歴史と発展のまち」をテーマに、同町自治会役員の小川博久さん(55)らの案内で、供養塚古墳や住蓮坊古墳などを回った。

参加者は、自治会メンバーらが準備したパンフレットや紹介文を手しに「あるのは知っていたけど、ゆっくり見たこ

とがなかった」「改めて勉強になる」と、見学先では興味深そうに説明に耳を傾けていた。

最後は今年7月に開館したばかりの「千僧供町地域歴史資料館」を訪れ、それまで回った先を思い出しながら、出土した土器や埴輪^{はにわ}、古い写真などの展示を見て回った。

同協会の岡村平一会長(70)は「古里に対する認識を今一度、新たにしてもらいたいと始めました。各町の皆さんが協力的で助かっています」と話していた。